

<<入院診療計画書・退院療養計画書>>

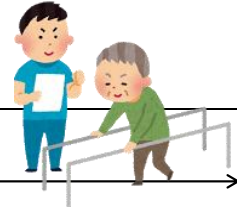
大腿骨骨折で手術を受ける患者さまへ

患者氏名	〇様		病名： 大腿骨頸部骨折	症状： 大腿部の痛み・歩行困難	主治医： 〇	印	受け持ち看護師：	
月日	1月0日		1月0日		1月1日 ～		1月3日 ～	1月7日 ～ 1月10日
	手術前日		手術前（当日）	手術後（当日）	手術後1日目～		手術後3日目～	手術後7日目～10日目
達成目標	手術の準備ができる			強い痛みがない 術後の安静が守れる	ベッドから起き上がることができる リハビリが開始できる		痛みが軽減する 車椅子で入院生活が送れる 安全に移動できる	シャワー浴を行うことができる 歩行訓練ができる 安全に移動ができる
治療・薬剤 （内服）	中止された以外のお薬は夜まで飲んで下さい 薬物治療について文書を用いて担当薬剤師が説明します		朝のお薬は、 （ ） を飲んでください	手術後心電図や呼吸状態を測定する器械をつけます 酸素のマスクをつけます	抗血栓薬 （ ） 以外の普段の飲んでいるお薬を再開してください		創のテープは適宜、主治医が診察して必要時、交換します	
			手術前に点滴をします 朝一番（9時）の手術の患者様は手術室で行います	手術室より背中から痛み止めの管が入ってきます 手術後点滴は持続的におこないます	鎮痛薬の処方が出ます 食事が摂れれば夕方に点滴は終了します		背中への痛み止めの管を抜きます、管を抜いた翌日より術前に中止していた抗血栓薬がある人は再開します	
活動・安静度	入院時の安静度を継続して下さい			ベッド上安静です 寝返りはできます	朝まではベッド上安静です 身体を拭き、着替えを行います 理学療法士によるリハビリテーションが始まります		背中への管、創の管が抜けた翌日からシャワー浴ができます	
	手術前から大腿四頭筋運動や足首・膝の運動を行なって下さい				午前から車いすに乗ることができます		リハビリの状況に応じて車いすや歩行器での移動が可能です 転ばないように看護師などが付き添います	
食事	21時以降は食べられません。 お水・お茶は飲みます 特別な栄養管理の必要性（有・無） 栄養管理が必要な場合は、文書を用いて管理栄養士が説明します		食事はできません お水は（ ）時まで飲みます	食事はできません	お腹の動きが確認できたら朝食から手術前と同じ内容の食事が出ます		制限はありません	
排泄	制限はありません			尿の管が入ってきます	回復に合わせて尿の管を抜きます		リハビリの状況に応じて車いすや歩行器でトイレまで行くことができます	
患者様およびご家族への説明	麻酔について医師の説明があります シャワー浴や清拭をして身体を清潔にします 爪の長い方は切り、マニキュア・ジェルネイル・スカルブネイルも落としてください		洗面・歯磨きはできます 指輪・時計・めがね・義歯など外せるものは外してください	足にマッサージする器械をつけます	足にマッサージする器械をつけます ベッドから起き上がって車いすに乗ることができれば、外れます			
	術後に使用する寝巻着（浴衣タイプ）を準備してください 部位確認のため医師がIDバンドに印を記入します		弾性ストッキングは手術しない方のみ着用してください （もう片方は手術室に持参します） 貴重品の管理はご家族でお願いします	うがいができます 手術後は看護師が適宜伺います 何かありましたら、遠慮なく申し出て下さい	歩行ができるようになるまで、または手術して10日経過するまでは弾性ストッキングは両足着用してして下さい 足首の運動を行いましょう			

注1 場合によっては内容を変更することがあります。

2025.12.22 180033

内容を確認し2枚目に署名をお願いします

患者氏名	○様		
月日	1月11日～1月14日	1月15日～1月18日	1月19日
項目	手術後11日目～14日目	手術後15日目～18日目	退院日
達成目標	歩行器での歩行訓練ができる 安全に移動ができる	歩行器使用し歩行出来る 杖歩行の訓練ができる 退院後の日常生活の注意点が理解できる	退院後の日常生活の注意点が理解できる
治療・薬剤 (内服)	手術後14日目に採血とレントゲンがあります 鎮痛剤は痛みに応じて調整してください 		日常生活の注意事項について  1. 動作について ・トイレは洋式を使用してください ・立ち上がる時には動かないものにつかまってください ・重いものを持ち上げることはなるべく避けましょう
活動・安静度	シャワー浴ができます 		2. 運動について ・杖は歩行に慣れるまでは、しばらく使用しましょう ・転倒に注意しましょう ・階段を上るときには手術していない方から、下りるときには手術した方から始めましょう ・歩行していて、疲れたら休むようにしましょう 
食事	制限はありません		3. 入浴について ・浴室で使用する椅子は膝の高さよりも高いものを準備した方がいいでしょう ・湯船につかるのは主治医に確認してから行って下さい その他 ・患部の腫れや、痛みが急激に悪化したときには病院に連絡して下さい ・スポーツや運動を始める際には主治医に相談しましょう ・自転車については主治医に相談しましょう
排泄	制限はありません		注) リハビリ病院転院の方は転院先のスタッフの指示にしたがってください
患者様および ご家族への 説明	転倒に注意してください 自宅に杖やシルバーカーがある人はリハビリで使用するので持参してください リハビリ病院転院予定の方は手術14日目で降転院が可能となります 転院調整についてはソーシャルワーカー（相談員）から適宜説明があります		次回外来について看護師が説明を行ないます 自宅退院予定の方は、午前10時頃です (リハビリ病院転院の方は転院先の病院との調整時間に当院出発となります) IDバンドは退院時に看護師がはずします 自宅退院後のご相談・お問い合わせは外来の看護師が承ります

注1 場合によっては内容を変更することがあります。 2025.12.22 180033

リハビリテーション・退院支援が必要な場合は、文書を用いて説明します